

データプロファイル簡略化内容

(凡例: **【★】** 繰り返し記載可)

標準版	
#	項目名
1	業務アクティビティ群
2	【★】業務アクティビティ
3	ヘッダ
4	データプロファイル作成日時
5	値
6	業務アクティビティID
7	ID
8	ディレクション
9	指示日時
10	値
11	指示情報
12	指示区分ID
13	ID
14	設備ID
15	ID
16	開始予定日時
17	値
18	終了予定日時
19	値
20	作業者固有ID
21	ID
22	プロセス情報
23	プロセス区分CD
24	ID
25	監視間隔周期情報
26	監視間隔周期
27	監視間隔周期単位
28	監視情報ルール
29	【★】監視情報のルール/しき
30	計測分類CD
31	計測値区分CD
32	計測項目番号
33	データの単位
34	機器ID
35	ID
36	許容最小値
37	値
38	下下限しきい値
39	値
40	下限しきい値
41	値
42	許容最大値
43	値
44	上上限値
45	値
46	上限値
47	値
48	トランザクション情報
49	結果日時
50	値
51	オータールール
52	指示区分ID
53	ID
54	設備ID
55	ID
56	開始予定日時
57	値
58	終了予定日時
59	値
60	作業者固有ID
61	ID
62	オータ-結果
63	プロセス区分CD
64	ID
65	監視情報ルール
66	【★】監視情報の
67	計測分類CD
68	計測値区分CD
69	計測項目番号
70	計測値
71	データの単位
72	機器ID
73	ID
74	異常判定最小値
75	下下限しきい値
76	値
77	下限しきい値
78	値
79	異常判定最大値
80	上上限値
81	値
82	上限値
83	値
84	関連情報
85	【★】周辺情報
86	周辺ID
87	計測分類CD
88	計測値区分CD
89	計測項目番号
90	状態情報
91	機器ID
92	ID
93	設備ID
94	ID
95	開始日時
96	値
97	終了日時
98	値
99	情報リンク先
100	【★】異常情報
101	異常ID
102	計測分類CD
103	計測値区分CD
104	計測項目番号
105	状態情報
106	機器ID
107	ID
108	設備ID
109	ID
110	開始日時
111	値

簡易版	
#	項目名
1	業務アクティビティ群
2	【★】業務アクティビティ
3	ヘッダ
4	データプロファイル作成日時
5	業務アクティビティID
6	ディレクション
7	指示日時
8	指示区分ID
9	設備ID
10	開始予定日時
11	終了予定日時
12	作業者固有ID
13	プロセス区分CD
14	監視間隔周期
15	監視間隔周期単位
16	【★】監視情報のルール
17	計測分類CD
18	計測値区分CD
19	計測項目番号
20	データ単位コード
21	設定値
22	機器ID
23	許容最小値
24	下下限しきい値
25	下限しきい値
26	許容最大値
27	上上限値
28	上限値
29	トランザクション情報
30	結果日時
31	【★】結果情報
32	計測分類CD
33	計測値区分CD
34	計測項目番号
35	データ単位コード
36	測定値・状態
37	機器ID
38	開始日時
39	終了日時
40	情報リンク先
41	下下限しきい値
42	下限しきい値
43	上上限値
44	上限値



111項目
⇒ 44項目

■ ID・値の削除
下記の理由から「ID」「値」を削除し、1つ上の層の項目に値を設定する。
・「ID」「値」はXMLでの属性のような名称の項目であるが、現状はただの子要素となっている。
・1要素につき1つの子要素のため、わざわざ子要素で階層を深くする必要はなく、直接親要素に値を設定すればよい。

■ ディレクション配下について、指示日時、指示情報、プロセス情報等を分けて親要素としているが、特に分けて管理する必要はない。階層構造を浅くして簡単なレイアウトにすることを優先し、ディレクション配下の1つにまとめる。

■ しきい値は異常情報に紐づく情報となるため、場所を異常情報に移動する。

■ 周辺ID、異常ID、異常判定最小値、異常判定最大値の削除
上記項目についても、あまりグルーピングする必要がない箇所
に上記項目があり、不要に階層が深くなっているため、削除する。